所属：小山工業高等専門学校　建築学科

研究タイトル：

地域素材による建物・町並みの空間構成



氏名：	小林基澄／KOBAYASHI Motosumi	E-mail：	Kobayashi-mo@oyama-ct.ac.jp
職名：	講師	学位：	博士（工学）
所属学会・協会：	日本建築学会		

キーワード：	歴史意匠、建築計画、建築設計、地域素材、町並み保存、空間構成

技術相談 提供可能技術：	・歴史的建物の実測、図面・CG 作成、建築空間としての価値評価等 ・建物の保存・活用方針の提案やまちづくりのご相談 ・石材が用いられた建物に関する研究・分析 ・採石関連産業の歴史・文化の調査

研究内容：大谷石の建物と町並み

■地域素材・地域資源としての大谷石

栃木県宇都宮市では、凝灰岩の一種である大谷石(おおやいし)と呼ばれる石が採れます。大谷石は軽くて加工がしやすいことから、古くから石塀などの土木材、石蔵などの建築材として使われました。こうして、その場所の文化や営みを反映した、地域素材である大谷石の多様な建物や町並みの、地区ごとに異なった地域特性がみられるようになりました。

小林研究室では大谷石の建物と町並みについての研究を行っており、このことは地域素材による建築文化の解明や地域創生に役割を持つうえで有意義なものと考えられます。

■大谷石の建物

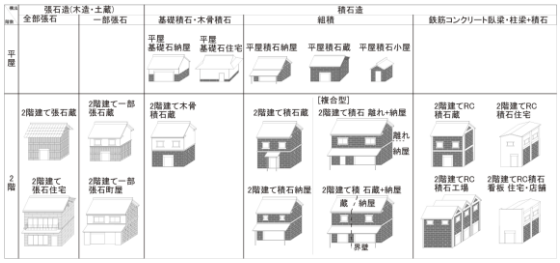
大谷石の建物について、建築年代や用途、構法といった構成や、壁面の石の仕上げや開口部の装飾などの細かな意匠等の空間構成について検討しています。さらに、階数や構法、用途などから整理して、大谷石建物の類型(タイポロジー)を導き、農村や都市の歴史や文化を反映した多様な類型があることを明らかにしました。

■大谷石の町並み

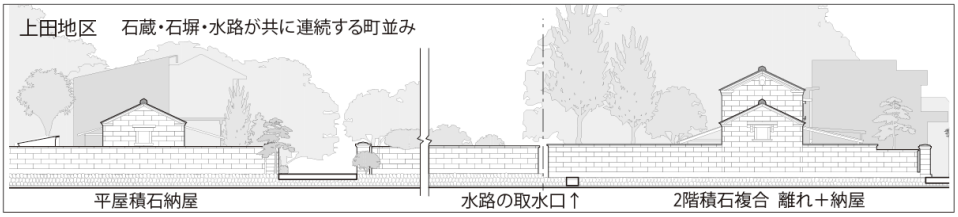
農村集落では、一敷地に複数の大谷石建物が密集して建てられ、街道沿いに石蔵や石塀が立ち並ぶ連続した町並みが形成されることがあります。こうした大谷石による石の町並みについても、その構成や地域特性を検討しています。



大谷石の建物



大谷石建物のタイポロジー(類型)



町並みの連続立面図

researchmap： https://researchmap.jp/kobamo50

提供可能な設備・機器：

名称・型番（メーカー）	
POP3Plus 3D スキャナー （Revopoint）	